

静岡県議会議員 すずきさとる 県政報告

2018.9.15



なぜ、公文書問題？

★ 民主主義国家では**選択に対する説明責任**が不可欠

選択に対する
説明責任とは？

- ① 選択の過程や理由を明らかにする
- ② 選択の結果の責任を明らかにする

家庭での選択の場合

（例えば） 夫「新車を買おう！」

◆ もしも誰にも相談せずに勝手に買ったとしたら？

- ➡ 妻や他の家族から文句や疑問が出る
（なぜ買ったの？ どうしてその車にしたの？…）
- ➡ しっかり説明できれば納得してもらえる可能性
（最後の1台だった、とてもお得で性能がいい…）

家庭での選択の場合

★ 選択の過程に家族全員が十分参加していれば
後で説明をする必要は（基本的に）ない（家族の理想形）

★ 家族全員が選択の過程に参加していない場合でも
説明が十分できれば（恐らく）理解、納得してもらえる

➡ 家族の場合は、口頭での説明で足りる場合が多いが
時には記録をしっかりと残す必要も（例）学校での成績

行政での選択の場合

★ 選択の過程に住民全員が参加することは不可能

➡ 口頭での説明だけでは、説明する側もされる側も
不十分な場合が殆ど（例）道路整備

➡ 誰が見ても理解、納得できる客観的かつ公平な記
録（公文書）を作成し、保存、そして必要に応じて公
開することが不可欠

静岡県は公文書管理後進県

- ① 公文書管理のルールが不十分（条例が未整備）
 - ➡ 保存期間終了後にかなりの文書が処分されている（※三木氏資料）
 - ➡ （例）旧優生保護法に基づいて行われた強制不妊手術の公的記録が皆無（※すずしん35号）

静岡県は公文書管理後進県

- ② 公文書管理・保存・公開のための施設も不十分
 - ➡ 既に30を超える都道府県で公文書館（あるいは相当施設）が整備されているが静岡県にはない
 - ➡ 県庁東館2階の県民サービスセンターで（歴史的）公文書を見ることが可能だが、その場で見られるのはごく一部（事前の閲覧申請が必要）

静岡県は公文書管理後進県

田町文庫（現用文書、歴史的公文書の多くを管理）



子どもの視点に立った政策推進を！

- ➡ 少子化対策はもう止めよう！
- ➡ 少子化対策 ≠ 子育て支援策

（例）夫婦と子ども一人の家族。夫婦は満足な子育てが出来たと考えています。子どもも両親に大変感謝しています。

子育て支援策 効果あり◎

少子化対策 効果不十分△

子どもの視点に立った政策推進を！

- ◆ そもそも、なぜ、少子化対策が必要？
（代表的な理由） 子どもが減り続けると人口が減る
- ➡ 街の活気がなくなる、物が売れなくなる
- ➡ 経済が衰退する、税収が減る、社会保障制度が成り立たなくなる、そもそも国力が弱くなる
- ➡ それは問題だから子どもを沢山産んでもらおう！

子どもの視点に立った政策推進を！

- ◆ 今後の経済の為に、子どもを産んでもらうのか？
- ➡ 子どもが生まれるのは大人の都合だが、子どもは大人の道具ではないはず
- ➡ 子どもを産めない人、子どもを産まない選択をした人達は無責任？

例えば、子育て支援や子供ができないカップルへの不妊治療に税金を使うというのであれば、少子化対策のために税金を使うという大義名分があります。しかし、LGBTのカップルのために税金を使うことに賛同が得られるものでしょうか。彼ら彼女らは子供を作らない、つまり「生産性」がないのです。そこに税金を投入することが果たしていいのかどうか。にもかかわらず、行政がLGBTに関する条例や要綱を发表するたびにもはやマスコミがいるから、政治家が人気とり政策になると勘違いしてしまうのです。

新潮45 2018年8月号

「LGBT」支援の度が過ぎる

すきた みお
杉田水脈

1967年生まれ。大学卒業後、住宅メーカーを経て、西宮市役所勤務。2012年に衆議院初当選。17年には自民党公認で比例区から出馬、当選。著書に「なぜ私は左翼と戦ったのか」等。

この1年間で「LGBT」（レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー）がどれだけ報道されてきたのか。新聞検索で調べてみると、朝日新聞が260件、読売新聞が159件、毎日新聞が300件、産経新聞が73件ありました（7月8日現在）。キーワード検索ですから、その全てがLGBTの詳しい報道ではないにしても、およその傾向が分かるので

はないでしょうか。

朝日新聞や毎日新聞といったリベラルなメディアは「LGBT」の権利を認め、彼らを支援する動きを報道することが好きなのですが、違和感を覚えるをえません。発行部数から言ったら、朝日新聞の影響の大きさは否めないでしょう。

最近の報道の背後にうかがわれるのは、彼ら彼女らの権利を守ることに加えて、LGBTへの差別をなく

57 「LGBT」支援の度が過ぎる

子どもの視点に立った政策推進を！

★ 多方面から非難された杉田水脈氏の主張と、行政が進める少子化対策の根底にある考え、思想は同じではないか！

➡ 大人目線、そして、子どもを産めない、産まない人生を歩む人達を否定しかねない少子化対策は止めるべき！



➡ 結婚して、子どもを2、3人産み育てることが唯一の行先？

➡ 杉田水脈氏と発想は同じではないか？

➡ 12月議会で徹底的に議論します！

新発想でつくろう。豊かな人口減少社会！

例えば

★ 土砂災害、洪水、津波、液状化等の災害が起きにくい地域に住宅地、商業地、そして工業地を誘導！

★ 化石燃料や石油製品の使用量を減らし、地球温暖化、マイクロプラスチック汚染等の対策で世界貢献！

長期的な視点に立った政策を進めていきましょう！